



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 25 年 2 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



「宇出津港のと寒ぶりまつり」撮影日：平成 25 年 1 月 20 日（日）

1 2月議会の内容

- 一般質問 P 2 - 5
- 特別委員会 P 5
- 議案質疑 P 6
- 常任委員会レポート P 7

平成 24 年第 4 回定例会は、12 月 5 日から 14 日までの 10 日間の日程で開催されました。5 日は、議案 20 件、請願 1 件が上程され、議案質疑を経て各常任委員会へ付託されました。

11 日・12 日には町政一般質問が行なわれました。

14 日には、継続審査となっていた平成 23 年度決算の認定 13 件について採決が行なわれ、原案のとおり認定されました。続いて議案 20 件、請願 1 件についての採決が行なわれ、議案については原案のとおり可決され、請願 1 件は継続審査とされました。続いて議会議案として議案 4 件、選挙 1 件が上程され、発議第 6 号「議会事務局設置条例の一部を改正する条例について」が否決されました。

続いて、久田良平議長・宮田勝三副議長の辞職が許可され、選挙の結果、宮田勝三議員が議長に、南正晴議員が副議長に当選されました。

第31号

いっばん質問



椿原安弘 議員

問 北陸新幹線開業と能登空港

北陸新幹線が平成27年春に開業予定であるが、開業により我が能登町や能登全体にどのような開業効果があるか。

答 入込客が大幅に増加するので誘客対策を講じる

町長 新幹線が開業すると首都圏からの入り込み客が50%増となり経済効果も121億円と予想されている。今年度設立した新幹線開業PR戦略実行委員会が官民一体となった大型誘客キャンペーンで観光出向宣伝や誘客対策を講じていきたい。能登空港の搭乗率はアップになると考えている。

問 新年度予算編成と主要事業

新年度予算編成にあたり、各課長に対し編成方針をどのように示したか。また、主要事業をどのように考えるか。

答 旧宇出津駅前整備や生活基盤整備関連等を実施

町長 健全財政で運営ができるよう経常的経費の削減に取り組むことが必要だが、その一方、公共事業の確保を考えるよう編成方針を示した。主要事業は、ハード面では、旧宇出津駅前の再整備事業や国重・鮭尾地区の水道施設整備、県漁協小木支所の燃料タンク整備助成や真脇・柳田地区温泉施設の整備を行なう。その他道路・橋りょう事業では交付金事業で生活基盤の整備を行ないたい。ソフト面では、世界農業遺産関連事業を主に行い、雇用の確保対策では、企業の事業主負担の軽減対策を継続していききたい。

問 環境保全対策

能登町は海岸線をはじめ農村山間部でも恵まれた自然環境である。しかし、最近は道路や公園等では空き缶やペットボトルが散乱し、飼犬の糞が放置されており、自然環境が損なわれている。また、建物の解体の廃棄物が不法投棄されることなどがあるので環境の保全や美化に関する条例を制定し、環境対策を推進してはどうか。

答 自然環境を未来に継承するため条例化を検討

町長 これまでは公害防止条例などで地域の環境保全に努めてきたが、今日の環境問題は生活環境問題へと変わってきている。今後は住民・行政・事業者の義務や責務を明確に定めて生活環境の保全に取組むため、美しく豊かな自然環境を未来に継承していくための環境保全や美化に関する条例を検討したい。



志幸松栄 議員

問 町の遊休土地

町の遊休土地で宇出津新港の空地利用について問う。

答 少しでも地域のためになるよう進めたい

町長 宇出津新港については、宇出津新港造成地利用検討懇話会で議論してもらい、町の活性化に資する方策に関連して活用を図るべきという意見をいただいた。今後は皆さんと相談して少しでも地域のためになるよう進めていきたい。

問 今後の能登町

産業・防災・福祉・民生など各分野においての来年度に向けての力の入れ方について問う。

答 町民がいくつになっても安心して住めるまちづくりを行なう

町長 産業については、産業創生の可能性について検討していき、各分野が一体となつて産業の振興に努めていく。防災に関しては町民全体の防災教育の徹底、知識の普及に今後とも取り組むたい。福祉・民生分野については、子育て支援、健康づくり、高齢者活動支援など年代に対応して医療費や健診予防事業、日常生活支援など町民がいくつになつても安心して住めるまちづくりを引き続き目指していく。



河田信彰 議員

問 町政二期を振り返っての感想を問う

持木町政の二期を振り返っての感想は。また、来春の町長選挙（平成25年3月予定）の対応について問う。

答 集中改革プランの実行や財政再建に努めた

町長 新町の職務執行者の田形氏から引き継いだこの7年8ヶ月はがむしゃらに職務に当たってきた。合併当初の財政事情は雑誌等で紹介されるほどの危険自治体であったことから、18年度からは集中改革プランの実行、財政再建に取り組み、最悪の事態を回避した。また、平成19年3月25日の能登半島地震では、

観光客が戻らない2次被害も発生したが、有線テレビの全町整備、海洋深層水設備の完成、北河内ダム、宇出津港いやさか広場の完成など総合計画に基づき環境整備にあたったほか、千葉県流山市、宮崎県小林市との姉妹都市提携をし、さまざまな分野での交流促進を図ってきた。

昨年の東日本大震災の被災地を視察し、防災対策の重要性、上水道の老朽管更新、宇出津駅跡地周辺整備など課題が山積みしている。

成長期から成熟期へと着実な橋渡しが私の責務であり、再度皆様のご推挙をいただけるなら町のために尽くしたい。



宮田勝三 議員

問 町づくりは人づくりから

町づくりは人づくりからと考えるが町長の思いを問いたい。

町長は課長を、**副町長**は課長補佐級以下を評価するという立場であるが、自信を持って自分の背中を見てもらえるだけのことをされているのか。また、日々どのような努力・配慮をもって仕事に当たっているのか。**副町長**は、久田船長追悼式の日、式典の後の「なのおらい」という行事に参加されていたが、その行動は職務を全うしたと思われるのか。職員にあなたの方のすばらしい背中を見せていただくために汗を流していただきたい。

答 人材育成こそが将来の町づくり

町長 人材育成こそが町にとって大変重要な問題である。これこそが将来の町づくりであり、まちづくりの基本は人づくりと考えている。

また、私自身も完璧な人間ではないが、職員の先頭に立つて実行していかなければならないし、見本となるよう取組んでいきたい。

副町長 私自身もいたらないところが多い人間と思っている。部下には私自身も含め失敗を恐れずチャレンジしていただきたいと考えている。

久田船長追悼式の式典後の「なのおらい」については体調不良のため欠席させてもらった。その連絡をしなかったことは、周りに対する配慮が足りなかったと反省している。



小路政敏 議員

問 1次産業の将来像を示せ

農林水産業の分野において、生産物、水揚げ量等の不振から耕作放棄地の増大、就業機会の減少、人口の流出・減少、著しい高齢化といった問題が深刻化している。それを踏まえて町はどのような将来の方向性を持つて進めていくのか。

答 6次産業化も新方策として視野に

町長 1次産業にこだわらずに生産、加工、流通、販売、全ての業務を生産者が主体的に携わる6次産業化も新方策として視野に入れていく。また、能登町に適した素材をもとに市場に求められる特

産品開発も進めていきたい。それには農業者・漁業者からの声や考えが大切であり、政策にいかしていきたい。



町内の耕作放棄地



新平悠紀夫 議員

問 脱原発が原発推進か

東日本大震災が起きて東電福島原発の爆発により大きな影響を及ぼした放射能により、住み慣れた家、土地から被害のない地域へと離れ、未だ出身地に戻れない状況を見て、能登町が同じ状況に陥った場合の処置を問う。

答 原発に依存しない方が望ましい

町長 能登町が同じ状況に陥ったことを考えると将来的には原発に依存しないことが望ましいと思うが、電力の安定供給という点では原発に頼らざるを得ない現実で、今後は代替エネルギーを確保し原発依存を低くする。

問 太陽光発電所の取組

太陽光発電の取組についての経過を問う。新聞報道によると民間企業による能登町に第2発電所の設置が記されていたが、その位置と規模を問う。

答 メガソーラー発電所が七見地内工場跡に完成

町長 メガソーラー発電所は七見地内の繊維工場跡地で「重光商事株式会社」が建設し、平成25年2月完成予定と聞いている。敷地面積1万4000㎡、可能発電量約752キロワットのメガソーラー発電所の建設計画である。

町として遊休土地や地域資源を活用した取組、企業算入には積極的に取り組んでいきたい。



南正晴 議員

問 鳥獣対策を問う

鳥獣による被害は。正しいイノシシの生態の啓発を行なうべきでは。また、イノシシを捕らえて食材としての活用を考えるべきではないか。



イノシシの捕獲檻

答 広報での啓発及び緩衝帯での対策を検討

農林水産課長 水田で2ヘクタール近くが被害を受けている。被害額は約140万円。

イノシシの生態の啓発は町の広報及び集落座談会で行ないたい。

町長 まだ町内では捕獲の実績がないので商品化は難しいと思うが、今後の推移を見ていきたい。



金七祐太郎 議員

問 生涯スポーツの振興策について問う

軽スポーツやニュースポーツなど多様化している町民のニーズに応え、幅広い年代層を対象とした「生涯スポーツ」の普及、振興策を問う。

答 スポーツの歓声にわく明る町づくりを目指す

町長 生涯スポーツは地域の活力にもつながり、その歓声に包まれた明るい町づくりを目指す。

教育長 「広報のと」に「ニュースポーツ」を連載中。普段スポーツをしない人も参加できるようにスポーツ推進委員との連携を密にしていきたい。



ニュースポーツ『インディアカ』の試合風景



奥成 壮三郎 議員

今年度再任用について問う

問 職員は不足しているか

退職した職員を再任用しなければならぬほど一般職の定数に欠員があるのか。また、好き嫌いでの一歩釣りとしか考えられないが。

答 必要な人材は配置したい

町長 今現在の職員数は定数より下回っていることで、適正な経験、そして適正な知識が必要な場面にベテランの知識・経験を活かし事務をスムーズに行なうため再任用している。

問 なぜ臨時職員に

なぜ、再任用職員から臨時職員に変えたのか。また、職員の給料表の中に再任用を示す基準、臨時職員にも基準があるにもかかわらず再任用も臨時職員と同じ給料とする意味は。

答 運用ミス陳謝

副町長 再任用制度運用上の初歩的ミスでありお詫びする。

総務課長 運用誤りが分り、7月1日から臨時職員としての採用に変えたという経緯があり、給料表は変えられず、引き続き同等の金額としている。

その他質問者

向峠 茂人 議員
鶴野 幸一郎 議員

決算特別委員会委員長報告（要旨）

去る10月9日から10月17日までに6回の委員会を開催し、決算書・主要施策の成果説明書等に基づき、予算執行が適切かつ効率的に行われたかについて慎重に審議し、その結果、全会一致で原案のとおり認定することに決定した。

審査の過程において各委員から指摘のあった意見について報告する。

歳出について、職員の資質向上を図ることは住民サービスの充実であり、今後一層の職員研修費の活用を図るとともに職員の管理指導に一層努められたい。また、能都埋立処分場の施設延命を図るため、ゴミ分別の広報を強化し、埋立処分場代替地の検討をすべきである。また、遊休地においては、有効活用できる施設、できない施設を見直し再利用・休止・廃止・売却を検討されたい。

病院事業に対しては救急・地域医療に継続的にあたるため今後も医師・看護師の確保について対策を講じられたい。また、水道事業においては本年の渇水対策を教訓として、管理体制を強化し持続可能な経営をするため有収率の向上を図るとともに経費の削減に努められたい。また、町営住宅整備についてはマスタープランに基づき整備をされているが、耐用年数を経過した住宅も見受けられるので安心できる住宅環境の整備促進を図られたい。次に歳入について、例年のごとく町税等の滞納金や各種負担金等の未収入金が多額である。税負担等の公平性から関係各課が連携して適正な処理を図り解消に努められるとともに納税相談等業務体制の改善を図られたい。また、特に国営農地開発事業に伴う未納負担金の



審査の経過と結果を報告する奥成委員長

委員長 奥成 壮三郎



議案をチェック

●市濱 等議員

小木浄化センターの工事について当初の計画金額より3000万円の減額だが、その要因と工事の進捗状況は。また、以前から事業箇所建物に建つていたが、この建物の当初の使用目的は。

今回の工事について運搬過程上無駄な時間を要する。小木地区下水道事業は事業団に丸投げで多くのところに無駄な先行投資が行なわれているようにだが、内容は把握できているのか。

●上下水道課長

日本下水道事業団に委託しているが、事業団の設計を基に業者に入札した結果、予定価格よりも安くなり、事業団との協定金額が減額になったためである。また、完成は12月14日である。
建物の目的は当初と変わらないが、汚泥処理方

法について、当初、県は2通りの方法を示していたが、移動乾燥車を広域で採用する方法を廃止し、各自自治体での脱水汚泥処理方法のみとなったため、積み込み方法も変更になり、設備も変えざるを得なかった。積み込みに掛かる時間は30分程度である。

法について、当初、県は2通りの方法を示していたが、移動乾燥車を広域で採用する方法を廃止し、各自自治体での脱水汚泥処理方法のみとなったため、積み込み方法も変更になり、設備も変えざるを得なかった。積み込みに掛かる時間は30分程度である。

●向峠 茂人議員

除雪対策事業について、昨年度より3社程度廃業したとのことだが、町民の通勤時間帯の道の確保など万全な体制ができるのか。除雪車維持には大変経費がかかるなど業者は買い替えが困難だ。町としてリース会社から借上げる方法は検討出来ないか。

●建設課長

現在53社と契約している。新規に3社増えた。経費については県の単価

に基づいて決めている。

●町長

経費について、以前は出動した時のみ経費を支払っていたが、近年は固定費として出動しなくても支払う金額もある。今年度はその金額についても増額している。リース会社から借上げる方法も今後検討したい。

●奥成 壮三郎議員

県営新町通り街路整備事業について、7740万円計上してあるが、どういう内容か。

●建設課長

県の事業に対する町の負担分の財源措置である。

●企画財政課長

全体事業費が5億円で町負担が約23%で1億1250万円であり、そのうち今年度の事業費追加による町負担額は7740万円である。

『議会議案』

●発委第5号

「石川県におけるドクターヘリの早期配備を求める意見書の提出について」

●発委第6号

「能登町議会会議規則の一部を改正する規則について」

●発委第7号

「能登町議会委員会条例の一部を改正する条例について」

●選挙第1号

「能登町選挙管理委員及び補充員の選挙について」

●議決第6号

「能登町議会事務局設置条例の一部を改正する条例について」

以上5件を議会議案として、12月14日に追加提出し、発委第5号、発委第6号、発委第7号、選挙第1号の4件については、原案のとおり可決された。議決第6号については、賛成少数にて否決された。（否決された議案の要旨は下記のとおり）

●議決第6号「能登町議会事務局設置条例の一部を改正する条例について」

■要旨

現在、上町にある議場及び議会事務局を3月1日から能都庁舎におくため、その位置を条例に記すための改正案。

■提出者 山岸昭夫議員

議場の位置が車で移動せねばならぬ状況は、非効率である。また、議会開会中は町長等町の統括、職員を指揮監督する方々が庁舎を離れなければならず、職務責務を果たせなくなる恐れがある。合併による真の町づくりが先決と判断し提案する。

■反対討論者

○大谷内義一議員

血の流るような激論を交わし合併協定書が作成された。非効率というのは理解できるが、庁舎等の在り方検討特別委員会が設置されたばかりで、これから検討していく特別委員会の結論が先である。

○向峠茂人議員

庁舎等の在り方検討特別委員会の委員長をしているが、まだこの委員会がスタートしたばかりであり、この時期に移転するのは時期尚早である。

■賛成討論者

○鍛冶谷眞一議員

議会庁舎は老朽化が進み危険箇所もある。これから先の維持管理等を考えると移転すべき。

○河田信彰議員

本庁舎と距離がある議会庁舎は老朽化し、危険である。著しい減少が推計されている将来人口や財政の厳しい将来見通しから、事務事業の効率化のため修繕は行わず、能都庁舎へ移転すべきである。

総務

委員会

奥成壮三郎（委員長）
 椿原安弘（副委員長）
 國盛孝昭・向峠茂人
 宮田勝三・鍛冶谷眞一

12月6日に委員会を開

催し付託された議案7件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●職員の人事評価

問 人事評価システムの内容について。

答 年度当初に職員が自分の目標を設定し、11月頃に自己評価をする。この一次評価について課長が聞き取り調査をする。二次評価は副町長、所管によつては教育長が行なう。最終的な評価を経て昇給を決定する。A B C D Eの5段階があり、Cが標準で4号級昇給するものが基本システム。

●町有地売却

問 財産収入の補正予算

について。

答 町有地の売却は姫台地の4件をはじめ合計8件で1057万円、法定外公共物が2件で26万円となった。

●乗り合いタクシー

問 交通対策費の追加について。

答 乗り合いタクシーの追加予算を計上で、当初予算が269万円であったが利用実績見込みで追加をしたい。現在会員数は320人いる。構想では2人乗り以上の乗り合いを予定していたが、1人乗りが60%を占め、実質的な経費が高くなり、いろいろ考慮したが止む無く乗車料金が1人の場合1500円。2人以上で1200円で運行している。タクシー会社には1キロごとの加算料金3000円のところを270円で協力運行をお願いしている。経費の46%を料金収入で賄っており財源は過疎債で充当している。

教育民生

委員会

市濱 等（委員長）
 金七祐太郎（副委員長）
 南 正晴 ・ 久田良平
 新平悠紀夫・大谷内義一

12月6日に委員会を開

催し付託された議案8件、請願1件を審議。議案については、全会一致で可決すべきものと決定した。請願第5号「文化施設の整備促進について」は継続審査とし、請願者から説明を聞くこととした。

●児童福祉施設費

問 施設費の追加内訳を示せ。

答 入所児の年齢に応じてなされる単価改正に42万3000円。22名の入所児増（主に0歳児）に伴う537万7670円増額の合計580万1000円を追加した。

●スポーツ財団の精算金

問 同財団に対し処理し

た返還金の内容は。
 答 事業精算に伴う出資返還金収入が4314万2000円、このうちスポーツ振興事業団精算金は1009万7000円である。

産業建設

委員会

小路政敏（委員長）
 河田信彰（副委員長）
 酒元法子・志幸松栄
 山岸昭夫・鶴野幸一郎

12月6日に委員会を開

催し付託された議案7件を審議し、原案のとおり可決すべきものとした。

審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●あばれ祭り神輿の展示

問 神輿の国立歴史民俗博物館展示について説明せよ。

答 博物館には、あばれ祭りで使用した本物の神輿を常設展示する。しかし疫学の観点から夏の間は実際に使用した神輿は汚れ等の関係で展示できないことになったため、神輿を1基制作し夏場はこれを展示する計画である。

●イノシシ対策

問 イノシシ対策についてその対策は。

答 町においても増えてきており、捕獲用のわなを仕掛けるためには資格が必要。町民の方に「わな」の資格を取得してもらうようPRしている。

答 町においても増えてきており、捕獲用のわなを仕掛けるためには資格が必要。町民の方に「わな」の資格を取得してもらうようPRしている。

●営農飲雑用水施設整備
 問 鮭尾地区の営農飲雑用水施設はどこに設置するのか。
 答 今後、水源を調査し、配水池等を決定し発注する予定である。

●渇水被害について

問 渇水対策に要した経費について説明せよ。

答 経費は2600万円余りで、町からの補助金は2500万円、不足した分は水道会計で対応した。

●老朽管布設替え

問 老朽管の布設替えは何年かかるのか。
 答 老朽管は5年間で集中的に改善する計画である。

10月から12月の主な議会活動

10月1日	議会運営委員会
10月2日	産業建設常任委員会管外視察
10月4日	町戦没者追悼式
10月5日	議会運営委員会管外視察
10月9日	決算特別委員会（10月17日まで）
10月17日	総務常任委員会管外視察
10月23日	教育民生常任委員会管外視察
10月26日	町社会福祉大会
10月27日	流山市議会表敬訪問
10月30日	議会全員協議会
11月2日	議会全員協議会・第1回議会臨時会
11月3日	町顕彰条例表彰
11月5日	石川県町村議会議長会臨時総会
11月8日	議会運営委員会
11月13日	県選出国会議員との懇談会
11月14日	町村議会議長全国大会
11月15日	能登地区議会連絡会研修
11月18日	岩井戸分団消防車入魂式
11月22日	議会運営委員会
11月23日	小林市姉妹都市盟約の締結
11月27日	庁舎等の在り方検討特別委員会
11月28日	議会運営委員会
11月30日	議会全員協議会・第2回議会臨時会
12月3日	町議会議長協議会
12月5日	第4回議会定例会 開会
12月11日	第4回議会定例会 一般質問
12月12日	第4回議会定例会 一般質問
12月14日	第4回議会定例会 閉会



議会運営委員会管外視察
(長野県小布施町)



岩井戸分団消防車入魂式

次の定例会は3月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしていますので、ぜひ傍聴にお越しください。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

余寒なお厳しき折、お見舞い申し上げます。

さて、昨年一月、千葉県流山市と姉妹都市となり、十月に能登町議会として流山市へ表敬訪問に参加してきました。

市民まつり見学では、能登町特産品のブースは、大変賑わっていました。

今後もお互いの町民・市民の交流が盛んになり交流人口の拡大の一助となるよう議会も協力して参りたいと思います。

副委員長 金七祐太郎

広報編集 特別委員会

委員長 長國盛 孝昭
副委員長 金七祐太郎
委員 市濱 等

小路 政敏
山岸 昭夫
鍛冶谷眞一